

第 21 回 地層処分研究開発・評価委員会 議事録（案）

【日時】 平成 27 年 2 月 5 日（木） 13:30～17:15

【場所】 富国生命ビル 23 階共用会議室（東京都千代田区内幸町 2-2-2）

【出席者】

委員)小島委員長、大西委員、朽山委員、中村委員、西垣委員、藤川委員
(欠席：高橋委員、藤原委員、八木委員)

機構)地層処分研究開発推進部：宮本部長、山口次長、内藤課長、仙波課長、牧野課長代理 他
企画調整室：山口室長
基盤技術研究開発部：亀井次長、柴田 SL、杉田 SL、舘 SL
東濃地科学センター：小出部長、大澤次長、梅田 GL
幌延深地層研究センター：伊藤部長、藤田 GL、野原 GL
安全研究センター：田中ユニット長
戦略企画室：瀬尾主席
事業計画統括部：能登屋副主幹

【配布資料】

- 資料 21-1 第 20 回地層処分研究開発・評価委員会 議事録（案）
- 資料 21-2 「中間評価」のこれまでの経緯と今後の進め方について
- 資料 21-3-1 深地層の研究施設計画（超深地層研究所計画）の進捗状況
- 資料 21-3-2 深地層の研究施設計画（幌延深地層研究計画）の進捗状況
- 資料 21-3-3 地質環境の長期安定性研究の進捗状況
- 資料 21-3-4 地層処分研究開発の進捗状況
- 資料 21-3-5 使用済燃料直接処分の研究開発の進捗状況
- 資料 21-3-6 知識ベースの開発
- 資料 21-4 「中間評価」の評価項目と評価の視点について

【議事概要】

1. 前回議事録の確認について

前回（第 20 回評価委員会）議事録（資料 21-1）を確認した。追加コメントある場合には事務局にメール等で連絡いただくこととした。

2. 「中間評価」のこれまでの経緯と今後の進め方について

資料 21-2 に基づき、「地層処分技術に関する研究開発」に係る「中間評価」のこれまでの経緯と今後の進め方について了解された。

3. 地層処分技術に関する研究開発の進捗状況

資料 21-3-1～6 に基づき、地層処分技術に関する研究開発の進捗状況についての確認を行い

大筋了解された。委員からの主な意見は以下のとおりであり、第3期中長期期間中の研究開発の実施に適宜反映していくこととした。

○人工バリア性能確認試験関係（幌延）

- ・事前予測と実測の比較とその繰り返しによる改善等を示していくといいのではないか。このような事例を増やすことが一般に方に信頼感を与える第一歩になるかもしれない。

○知識ベース関係

- ・知識化ツール（例えば、e-PAR, ISIS 等）の公開については、人材育成や知識継承のために使いたいとのニーズあり。機構の成果をアピールする意味でも、公開に向けての努力を継続して欲しい。
- ・専門家向けだけでなく、一般向けの簡略化も考え対応を具体化していくべき。研究を進めるだけでなく、どう示していくかを考えることが重要。

○ウォータグラウト関係（瑞浪）

- ・瑞浪にて深い深度でウォータグラウトをやっていることは、通常の土木分野からするとチャレンジであり、もっとアピールして欲しい。

○長期安定性研究関係

- ・地層処分においてメカニズム追究は大事であるが、サイト選定などでは、局所と広域をどううまくつなげて表現するかも考えていく必要がある。

○横断的な連携

- ・成果—課題マップの整理はよいが、現在の整理方法では、実際には行われている分野間の連携が見えにくい。また連携をさらに促進する仕組みを検討して欲しい。

4. 地層処分技術に関する研究開発の中間評価（続き）及び総合討論

今般の研究開発課題の「中間評価」については、機構改革に伴い段階的に行った。次期計画の見通しに係る部分を除く中間評価が、年度末までの成果の見通しを含め前倒しで昨年9月に行われており、今回上記3.の研究開発の進捗状況において分野ごとに次期計画の見通しを提示したことを踏まえ、改めて「中間評価」を行った。委員からの主な意見や提言は以下のとおりであり、さらにご意見・ご提案があればメール等で事務局まで連絡いただき、これまで作成されてきた中間評価報告書(案)に反映することとした。

○地下研は、平成25年度に試験坑道等が整えられてやっと研究のスタートラインにたち本番はこれからであり、研究開発のみならず、国民との相互理解促進の場でもあり、わが国の地層処分計画において重要な役割を担い、瑞浪や幌延の両施設の位置付けや重要性は今後も変わらず、国の貴重な資産として認識すべきとの委員会の見解を明示する。

○今後は、必要な技術を必要なタイミングで円滑に提供できるように計画を進めていくことが重要である。

5. その他

- ・次回（第22回評価委員会）の開催日時等は、別途メールにて調整を行い決定する。

以上